

2021年3月期 連結業績概要

専務執行役員
山西 哲司

米中対立やコロナ禍により世界経済が減速も、第2四半期以降の社会経済活動、生産活動の再開によるエレクトロニクス需要の回復基調が継続。DX、EX関連需要が期初想定以上に拡大し、売上高・営業利益とも過去最高を更新*。

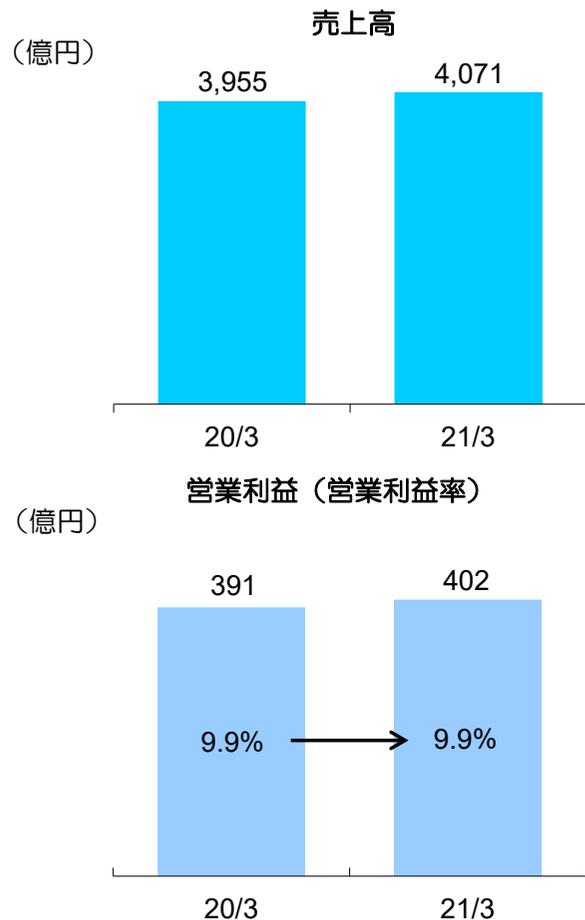
- 売上高は前期比8.5%増、営業利益は前期比13.9%増
 - 第2四半期より急回復した自動車市場向けの受注が引き続き好調。受動部品を中心に販売が拡大。
 - ICT市場向けは、DX関連需要が好調に推移。PC、タブレット、5Gスマートフォン向けに二次電池、受動部品、センサの販売が拡大。
 - コロナ禍における短期的収益改善施策及び需要動向変化を見据えた拠点再編等の資産効率向上施策を第4四半期に実施。

*営業利益は2017年3月期に計上の事業譲渡益を除いたベースで比較

2021年3月期 連結業績概要

(億円)	2020年3月期 通期実績	2021年3月期 通期実績	前期比	
			増減	増減率 (%)
売上高	13,630	14,790	1,160	8.5
営業利益	979	1,115	136	13.9
営業利益率	7.2%	7.5%	+0.3 pt	-
税引前利益	959	1,219	260	27.1
当期純利益	578	793	215	37.2
1株当たり利益 (円)	457.47	628.08	-	-
為替	対ドルレート (円)	108.82	106.05	2.5%の円高
	対ユーロレート (円)	120.92	123.67	2.3%の円安
為替変動による 影響金額	売上高：約217億円の減収 営業利益：約81億円の減益			

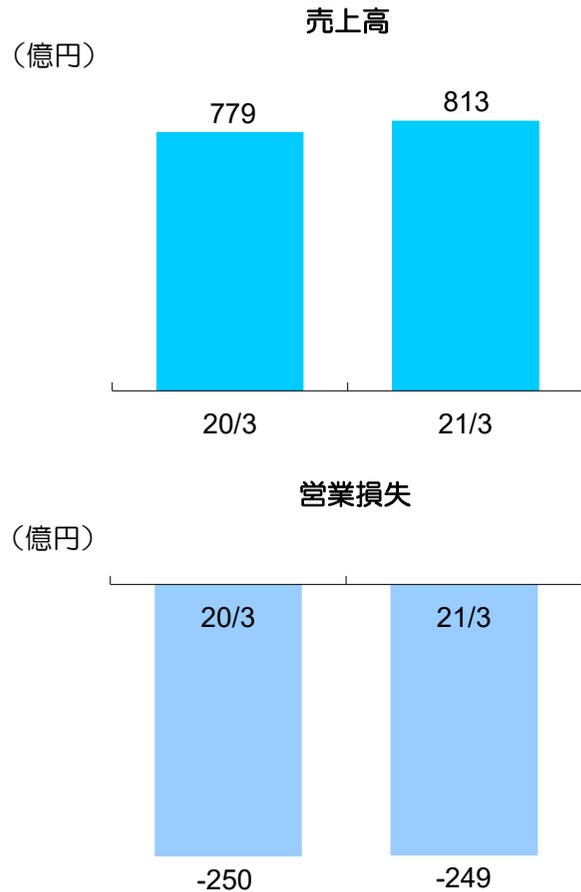
2021年3月期 各事業の状況（受動部品事業）



売上高 4,071億円（前期比2.9%増）
営業利益 402億円（前期比2.8%増）

- セラミックコンデンサ
 - 前期比で増収減益。
 - 自動車市場向け販売が増加。
- アルミ・フィルムコンデンサ
 - 前期比で増収、収益が改善。
 - 産業機器市場向け販売が増加。
- インダクティブデバイス
 - 前期比で増収増益。
 - ICT市場向け販売が増加、産業機器市場向け販売が減少。
- 高周波部品
 - 前期比で増収増益。
 - ICT市場向けの販売が増加。
- 圧電材料部品・回路保護部品
 - 前期比で増収増益。
 - 産業機器市場向け販売が増加。

2021年3月期 各事業の状況（センサ応用製品事業）

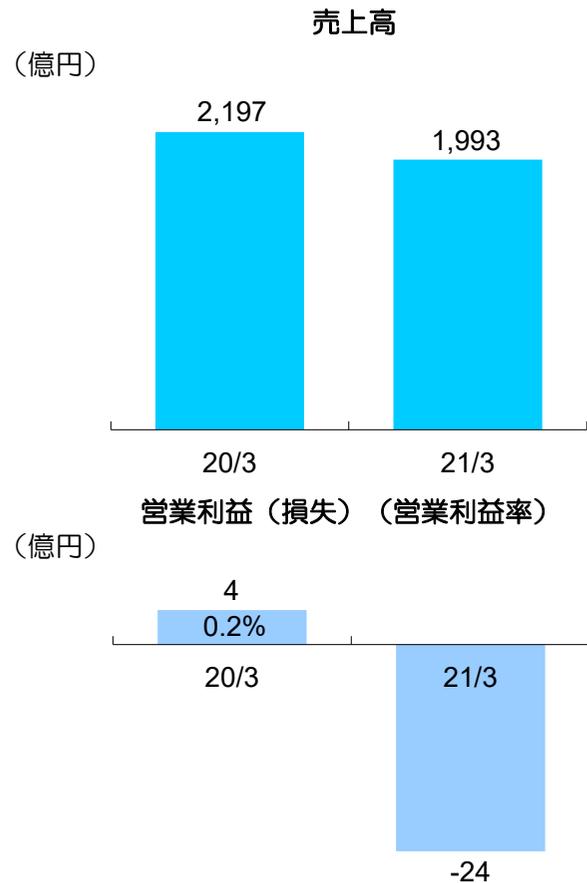


売上高 813億円（前期比4.4%増）
営業損失 △249億円（前期比一%減）

● センサ

- 上期は自動車市場向け販売の落ち込みが大きく前期比で減収も、下期は需要回復及び顧客基盤、アプリケーション基盤の拡大で大幅増収となり、4Qに最高売上。
- 収益は4Qに一時費用を計上も、開発費効率化やコスト改善施策の効果により改善。
- TMRセンサは、ICT市場向け販売が大幅に拡大し増益。
- MEMSセンサは、モーションセンサの顧客基盤の拡大及びMEMSマイクロフォンの新規ビジネス立上げにより販売が拡大。

2021年3月期 各事業の状況（磁気応用製品事業）



売上高 1,993億円（前期比9.3%減）
営業損失 △24億円（前期比一%増）

- HDDヘッド・HDDサスペンション
 - ⊣ HDDヘッドは主要顧客の工場閉鎖（ロックダウン）により前期比で大幅な減収減益、磁気応用製品セグメント全体で収益が悪化。
 - ⊣ HDDサスペンションはμDSAの販売拡大で前期比で増収増益。
- マグネット
 - ⊣ 自動車市場向けの販売が減少し前期比で減収。収益は、一時費用の減少により損失額縮小。

2021年3月期 各事業の状況（エナジー応用製品事業）

Attracting Tomorrow



売上高 7,402億円（前期比23.8%増）
営業利益 1,474億円（前期比18.8%増）

● エナジーデバイス（二次電池）

- 前期比で増収増益。パワーセル新製品の立上げに向け先行投資を実施したため、増益率が若干低下。
- モバイル用途（スマートフォン、タブレット、ノートPC）向けの販売が好調に推移、特にタブレット、ノートPC向けは大幅増。
- ゲーム機向けやミニセル製品の販売が拡大。
- 家庭用蓄電システム、電動二輪車向け等のパワーセル製品の販売が拡大。

● 電源

- 産業機器用電源は前期比で増収増益。
- EV電源は減収。

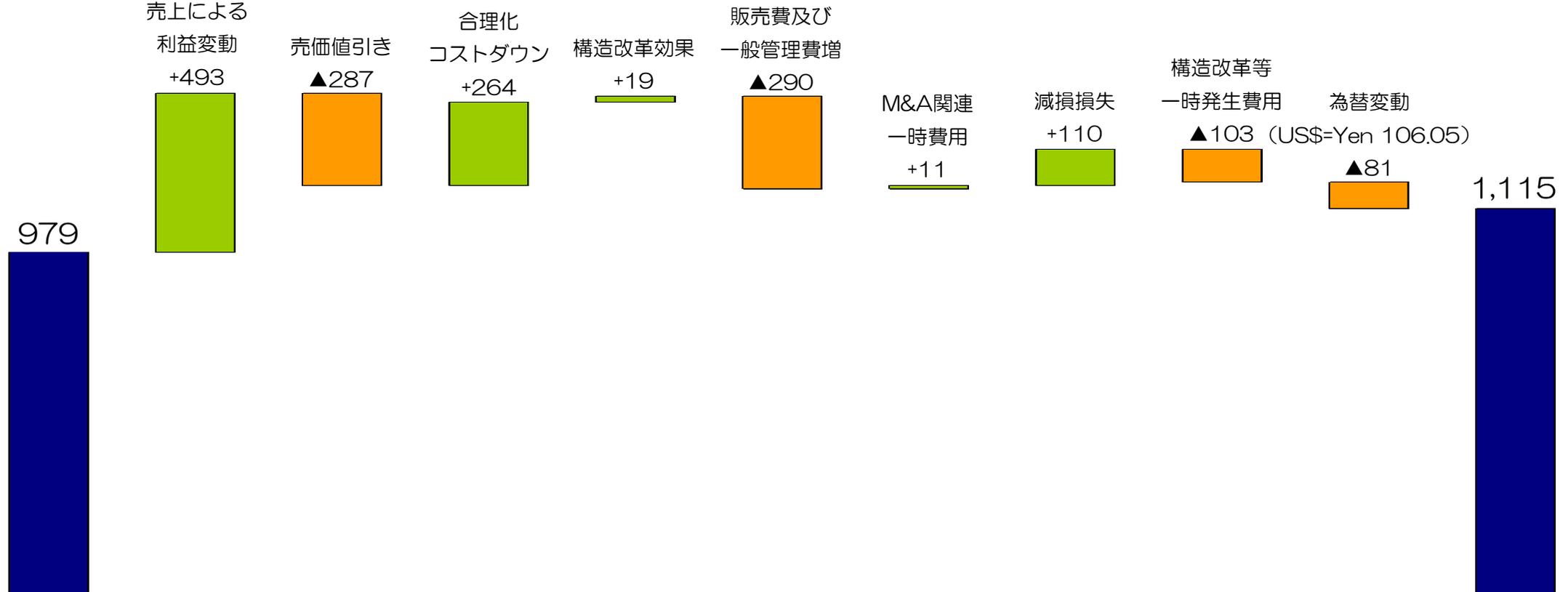
営業利益増減分析

2020年3月期
979億円

営業利益 +136億円

2021年3月期
1,115億円

(単位：億円)



2021年3月期 セグメント別四半期実績

(億円)		2020年3月期 第4四半期 (A)	2021年3月期 第3四半期 (B)	2021年3月期 第4四半期 (C)	対前年同期比増減 (C) - (A)		対直前四半期増減 (C) - (B)	
					増減	増減率(%)	増減	増減率(%)
売上高	コンデンサ	377	419	443	66	17.5	24	5.7
	インダクティブデバイス	330	390	390	60	18.2	0	0.0
	その他受動部品	263	285	306	43	16.3	21	7.4
	受動部品合計	970	1,095	1,139	169	17.4	44	4.0
	センサ応用製品合計	187	230	239	52	27.8	9	3.9
	磁気応用製品合計	518	559	546	28	5.4	△ 13	△ 2.3
	エネルギー応用製品合計	1,183	1,954	1,873	690	58.3	△ 81	△ 4.1
	その他	145	119	125	△ 20	△ 13.8	6	5.0
	合計	3,004	3,957	3,922	918	30.6	△ 35	△ 0.9
営業利益	受動部品	67	134	95	28	41.8	△ 39	△ 29.1
	センサ応用製品	△ 70	△ 41	△ 85	△ 15	-	△ 44	-
	磁気応用製品	△ 115	42	△ 41	74	-	△ 83	-
	エネルギー応用製品	147	428	250	103	70.1	△ 178	△ 41.6
	その他	△ 58	△ 30	△ 83	△ 25	-	△ 53	-
	小計	△ 30	533	136	166	-	△ 397	△ 74.5
	全社および消去	△ 84	△ 82	△ 95	△ 11	-	△ 13	-
	合計	△ 114	451	41	155	-	△ 410	△ 90.9
営業利益率	-	11.4%	1.0%	- pt	-	-10.4 pt	-	
為替	対ドルレート (円)	109.05	104.50	105.87				
	対ユーロレート (円)	120.32	124.46	127.75				

この資料には、当社または当社グループ（以下、TDKグループといいます。）に関する業績見通し、計画、方針、経営戦略、目標、予定、認識、評価等といった、将来に関する記述があります。これらの将来に関する記述は、TDKグループが、現在入手している情報に基づく予測、期待、想定、計画、認識、評価等を基礎として作成しているものであり、既知または未知のリスク、不確実性、その他の要因を含んでいるものです。従って、これらのリスク、不確実性、その他の要因による影響を受けることがあるため、TDKグループの将来の実績、経営成績、財務状態が、将来に関する記述に明示的または黙示的に示された内容と大幅に異なったものとなる恐れもあります。また、TDKグループはこの資料を発行した後は、適用法令の要件に服する場合を除き、将来に関する記述を更新または修正して公表する義務を負うものではありません。

TDKグループの主たる事業活動領域であるエレクトロニクス市場は常に急激な変化に晒されています。TDKグループに重大な影響を与え得る上記のリスク、不確実性、その他の要因の例として、技術の進化、需要、価格、金利、為替の変動、経済環境、競争条件の変化、法令の変更等があります。なお、かかるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません。

また、本資料では、業績の概略を把握していただく目的で、多くの数値は億円単位にて表示しております。百万円単位にて管理している原数値を丸めて表示しているため、本資料に表示されている合計額、差額などが1億円の桁において、不正確と見える場合があります。詳細な数値が必要な場合は、決算短信及び補足資料を参照していただきますようお願いいたします。



決算説明会の質疑応答を含むテキスト情報は以下のページに後日掲載いたします。
https://www.tdk.com/ja/ir/ir_events/conference/2021/4q_1.html